

5. 1 学年学習計画

科目名	世界史A	単位数 実施予定授業数	2単位 70時間
-----	------	----------------	-------------

(1) 学習の到達目標

学習の到達目標	原始・古代から現代までの歴史の流れを全体的に理解する。その中で、各地域世界とその交流の歴史、近代化と一体化する世界、複雑化する現代の国際社会の動き等を重点的に理解し、国際社会の現状と課題を自ら考察・分析する力の基礎を養う。
使用教科書・副教材等	帝国書院 明解『世界史A』 とうほう ウィニングコンパス 「世界史の整理と演習」 第一学習社 『グローバルワイド最新世界史図表』

(2) 学習計画・評価方法

学期	学習内容	月	学習のねらい	時数
第1学期	東アジアの文明	4	・中国文明の成立から元までの遊牧民族との関係を含めて理解する。	6
	南アジアの文明		・インドの古代国家・東南アジア古代史・ヒンドゥー教・仏教について理解をする。	
	東南アジアの文明	5	・古代オリエン特文明・イスラム世界の発展について理解する。	7
	西アジア・北アフリカの文明		・ギリシア・ローマ文明がヨーロッパ世界の形成に与えた影響について把握する。また、キリスト教についても学習する。	7
	・南北アメリカの文明	6	・封建社会成立から王権の伸張までの西ヨーロッパ世界の変動を把握する。	5
		7		
[課題・提出物等] 小テスト等の課題。				
[テスト範囲] 中間テスト 教科書 pp. 8～33 期末テスト 教科書 pp. 34～59				
[評価方法] 定期考査を基本とし、授業への取り組み、課題提出状況などを総合的に判断して評価する。				
第2学期	・繁栄するアジア	7	・明・清の繁栄について理解する。	5
	・大航海時代と新たな国家形成	8	・大航海時代のヨーロッパとアメリカ大陸との接触・交流について学習し、アメリカ大陸の先住民社会の変貌を理解する。	7
		9	・イギリス・フランスの絶対王政について理解する	8
	・ヨーロッパとアメリカの諸革命	10	・イギリスの革命・アメリカ独立革命・フランス革命・ラテンアメリカ諸国の独立の歴史的意義を理解する。	
・自由主義とナショナリズムの進展	11	・産業革命の背景とその影響について関心を高め、意欲的に追求する。		
・アジアの動揺		・ウィーン体制下での自由主義・ナショナリズムの運動について、その歴史的意義を考察する。		
・東アジアの大変動		・中国と日本の関係を中心に東アジアの国際問題を理解する。		
[課題・提出物等] 小テスト等の課題				
[テスト範囲] 中間テスト 教科書 pp. 59～97 期末テスト 教科書 pp. 97～147				
[評価方法] 定期考査を基本とし、授業への取り組み、課題提出状況などを総合的に判断して評価する。				
第3学期	・帝国主義と世界の変容	12	・帝国主義列強の世界政策によって世界がどのように変容したか理解する	5
	・急変する人類社会		・19世紀末から20世紀初頭にかけての欧米諸国や日本などに見られた社会の急激な変化を追究し、現代社会の原型が成立したことを理解する。	
	・第一次世界大戦と民族主義の展開	1	・第一次世界大戦の性格と世界の変化について理解する。	6
	・ファシズムの台頭と第二次世界大戦	2	・世界恐慌からファシズムの台頭、第二次世界大戦に至るまでの過程を互いに関連づけながら理解する。	6
・冷戦から地域社会への歩み		・東西冷戦と冷戦終結後の新たに生じた政治的対立と宗教的対立を理解する。		
[課題・提出物等] 小テスト等の課題				
[テスト範囲] 期末テスト 教科書 pp. ～217				
[評価方法] 定期考査を基本とし、授業への取り組み、課題提出状況などを総合的に判断して評価する。				
[年間の学習状況の評価方法] すべての定期考査を基本とし、1年間の授業時の取り組む姿勢などを考慮し総合的に判断する。				